

千葉大学

Newsletter of Alumni Association, Chiba University

校友会報

No.4
2010年11月1日

最近の千葉大学
トピックス
卒業生便り
SNS「Curio」
海外校友会



千葉大学校友会

園芸学部創立100周年記念式典・祝賀会が開催されました。

園芸学部は明治42年に千葉県立園芸専門学校として創立され、その後、大正3年千葉県立高等園芸学校、昭和4年官立千葉高等園芸学校、昭和19年千葉農業専門学校を経て現在に至り、平成21年に創立100周年を迎えました。

同年10月には記念式典・祝賀会が開催されました。



園芸学部創立100周年記念式典▶

薬学部が創立120周年を迎えました。

薬学部は昭和23年7月に第一高等学校校医学部薬学科として生まれ、千葉医科大学附属薬学専門部を経て現在に至り、平成22年度に創立120周年（大還暦）を迎えました。

薬学部は昭和41年7月に亥鼻キャンパスから西千葉キャンパスに移転しましたが、平成15年度に再び亥鼻キャンパスへ一部が移転し、平成23年8月末に完全移転となります。



▲医薬系総合研究棟(Ⅱ期)完成予想概観図



▲旧校舎の屋根飾り

最近の千葉大学

千葉大学の最近の動きをご紹介します。



千葉大学校友会とは

千葉大学校友会は、元学長磯野可一氏の発案で平成14年に発足いたしました。今まであまり交流のなかった学部同窓会を横にまとめ、大学内外で団結し、千葉大学と同窓生との情報交換や連携協力を緊密にすることにより、同窓会、ひいては大学の発展貢献することを目的として設立されました。



千葉大学校友会

千葉大学校友会シンボルマーク

校友会では、各学部同窓会および会員相互の情報交換の機会を提供しています。同窓会会員へのお知らせ等ホームページで情報提供を希望する場合は、下記校友会事務局へお申し込みください。なお、情報内容により掲載できない場合もありますことをご了承下さい。



表紙写真モデル

千葉大学陸上競技部



平成22年10月16日に行われた第87回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会に、千葉大学陸上競技部が5年連続で出場しました。今年は36校がエントリーをし、33位の成績でした。本選出場に向け、これからの活躍に期待します。ご苦労様でした。



陸上競技部長距離ブロック長からのコメント「OB・OGの皆様の温かい応援ありがとうございました。皆様からの応援を糧に最後まであきらめず走りきることができました。部員一同感謝しています。これからも応援の方よろしくお願います」

齋藤和季教授(大学院薬学研究院)

業績名 メタボロミクスを基盤とした植物ゲノム機能科学の研究

羽石秀昭教授(フロンティアメディカル工学研究開発センター)

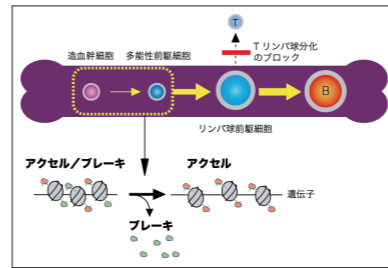
業績名 ナチュラルビジョンの研究

齋藤和季教授、羽石秀昭教授が、平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において科学技術賞(研究部門)を受賞しました。

この賞は、「我が国の科学技術の発展等に寄与する可能性の高い独創的な研究又は開発を行なったもの」を対象として、4月13日に表彰式が行われました。

岩間厚志教授らが造血細胞の多機能性を維持する仕組みを発見しました。

岩間厚志教授（大学院医学研究科）らは、JST 基盤研究事業の一環として、造血細胞が全ての血液細胞を生み出す能力を維持するの、ES細胞/iPS細胞と同様に、ポリコム複合体という酵素が重要な働きを果たしていることを発見し、本研究成果は米国科学雑誌「Cell Stem Cell」（米国東部時間2010年3月5日）に掲載されました。



▲Bmi1欠損マウス骨髄における造血

「第46回こどもまつり(教育学部)」が開催されました。



遊びの様子

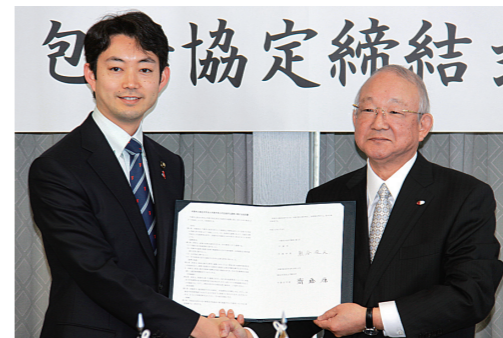


遊びの様子

6月19日・20日の二日間で、「第46回こどもまつり」(教育学部)が開催されました。

こどもまつりの目的は、普段こどもが遊ばない遊びを提供し、かつ地域の交流、こどもと大人の交流を図ることです。今年約1,000人のこども、保護者が教育学部棟におとずれました。ぎじゅつカーやストローロケットなど、さまざまな遊びを千葉大学が企画をして、こどもたちと大学生や保護者が一日中遊び、楽しんでいました。

千葉市と包括連携協定を締結しました。



▲協定書を取り交わす熊谷千葉市長(左)と齋藤学長(右)

締結しました。

本学と千葉市は、このたび、恒常的な枠組みを作り、連携窓口を設けました。情報の共有促進や意思決定の迅速化を図り、より密接な連携の継続発展を願って、2月4日に包括的な連携協力に関する協定を

卒業生が卒業生室をおとずれ、学内を見学してまいりました。



地雷探知・撤去ロボットの前に記念撮影する卒業生▶

大学の変貌ぶりに皆様感謝されたと共に心から感謝されておりました。

昭和41年教育学部卒業生が、卒業生室をおとずれ、大学の現状等の説明のあと、地雷探知・撤去ロボットや、理学部サイエンスプロムナード、教育学部の教室等をご案内いたしました。45年ぶりに見た

千葉大学経済人倶楽部「絆」第2回総会が開催されました。



▲挨拶する千葉大学経済人倶楽部「絆」犬養会長

2回総会が、5月24日、けやき会館で開催されました。現在の会員数は141名でございます。

産業経済界並びにその関連分野において活躍される千葉大学卒業生が、相互の親睦を図り、母校及び産業界の発展に寄与することを目的として昨年度設立された、千葉大学経済人倶楽部「絆」第2回総会が、5月24日、けやき会館で開催されました。

工学研究科デザイン科学専攻の学生が、第26回読売広告大賞「読者が創る広告の部」で大賞を受賞しました。

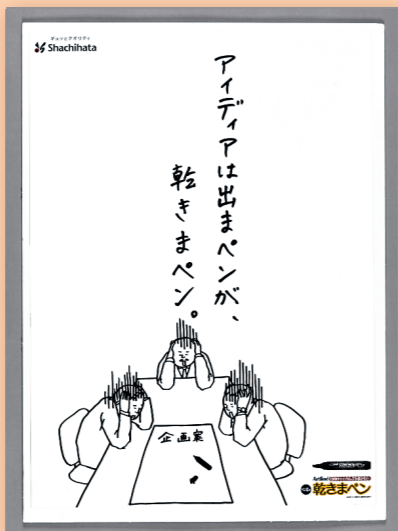
同賞は、協賛社のテーマをもとにして、プロ・アマを問わず新聞広告作品を募集し、顕彰するコンテストで、毎年1,500点を超える作品が集まる大きな広告賞です。受賞したのは、協賛社のシャチハタの油性マーカー「Artline乾きまペン」をテーマに、ふたを開けたままでも最大で2週間乾かないペンをユーモラスに表現した作品です。

工学研究科デザイン科学専攻博士前期課程1年生の岩原一平さん、吉武美生さんの提案が、第26回読売広告大賞「読者が創る広告の部」で見事大賞を受賞しました。

第26回
読売広告大賞

「読者が創る
広告の部」

大賞受賞作品



トピックス

卒業生サロンのご案内

これまでも、これからも、
チバダイガクがそばにいる

毎年、大学祭開催期間の土・日曜日に「卒業生サロン」を開催しています。卒業生サロンでは、在校生が千葉大コンシェルジュとして卒業生の皆様をお迎えいたします。
是非、ご家族・お友達お誘いあわせのうえ、母校に足を運んでみられませんか！



卒業生サロンの様子

校友会總會のご案内

卒業生室では、同期会・サークル等でお集まりの際に、
学内をご案内させていただきます。事前の連絡をお待ちしています。

問い合わせ先 千葉大学卒業生室

TEL : 0120-787-4129 (フリーダイヤル)
E-mail : chiba-sotsushitsu@office.chiba-u.jp

千葉大学SEEDS基金のご支援、ご協力をお願い

挑戦を怖れない人材を世へ。千葉大学は動き始めます。

— 千葉大学SEEDS基金は、チャレンジを支え人を育てる基金です—
寄附のお申し込みは、下記ホームページをご覧ください。

<http://kikin-chiba-u.jp>

お問い合わせ先
千葉大学 基金室 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
TEL : 043-290-2109 FAX : 043-284-2550
E-mail : kikin@office.chiba-u.jp URL: <http://www.chiba-u.ac.jp/>

“International Vehicle of Thoughts”

きら星のごとき先輩後輩達に続いて、あまり変哲もな
い私におはちが回ってきて、いさ
さかの戸惑いを禁じ得ない。卒
業が昭和36年、1961年だか
らいわゆる「三丁目の夕日」世
代であり安保闘争世代である。
ご存じの方も多いが、当時の教
養課程は稲毛の旧校舎、元は戦
時中の兵舎という木造校舎群、
工学部は松戸の丘の上のこれも
旧軍隊施設と言ったことで、至る
所にその面影を残していた。現

在では信じられないだろうが、
冷暖房はおろか、電灯の無い教
室もあった。
高校時代から英語部 (ESS)
という軟弱？なクラブ活動をやっ
ていた延長で、入学と同時に何
のためらいもなく、当時はSES
S (Spoken English Society)
と言っていた英語会話部に入っ
た。部室はキャンパスの片隅の
木造の小さな独立家屋で (英語
弁論大会で上位の常連として強
豪校の一角を占めていた先輩達が

「先生と一緒に手品を使って建
てた」と言われていた) 幾つかの
個室をもった立派なものだった。
稲毛の2年間は大学に行くところ
心地のいい部室に直行して、時々
授業に行くと言った感じだった。
と言っても、英語をやっていたと
いうよりは、ひたすら入り浸って
いたと言っただけのことではあつた
が、今とは比べるべくもない学
習環境だったが、多様な個性を
持ったさまざまな学部先輩後
輩とのふれ合いは実に豊かな青



入学当時のSES部室

春だったと思う。

卒業生便り

高井英造

“International Vehicle of Thoughts”



1992年コロラド石油賢人会議のひとつ
(一番右筆者、隣は元イラクOPEC代表チャピラ氏)

バラエティのある言葉と付き合って、つくづく International Vehicle of Thoughts だと実感したことがある。

ノールウエー最北端、北極海に望むナルビック工科大学で招待講義をしたのは、国際大会での研究発表とその後の偶然の再会から、シンガポール人の女性研究者に誘われてのことである。コロラド大学での石油賢人会議の常連メンバーとしてモデル

例の少なかつた企業から大学への転進をためらわずに選択したのは、背中を押してくれた家人のおかげもあるが、とにかく、いいと思うことをやる機会は逃すなという、アメリカでの経験のおかげもあったと思う。

静岡大学を定年退官後には元気なベンチャー企業に誘われ、傍ら和光大学の教壇に立った。そこが終わると、多摩大学など

高井英造プロフィール

・株式会社フレームワークス特別技術顧問
東京工業大学キャリアアップMOTサプライチェーン戦略スクール・コースコーディネータ
千葉大学英友会会長

■経歴

・1937年生まれ
・1961年工学部工業化学科卒業。三菱石油に就職後コロムビア大学工学部大学院に留学。エネルギー調査部長などを歴任後、静岡大学人文学部教授に転職。退官後現在の企業に移り、和光大学経済経営学部教授、多摩大学大学院客員教授、文部科学省科学技術政策研究所客員研究官などを歴任。OR、経営工学関係の学会や団体などで活動が続いている。著書「意思決定のためのオペレーションズ・リサーチ入門」(日本評論社)他



SES部室で

その部室の入り口に掲げてあったのが、当時顧問であった教育学部の天野先生の書かれた“English is an International Vehicle of Thoughts”という言葉だった。その時は思いつかなかったが、この言葉の意味をその後何度となく世界のあちこちで思い出すことになる。

1963年、工学部工業化学科を卒業して2年間働いた石油会社の研究所を休職してニューヨークのコロンビア大学工学部の

大学院に留学した。どうせなら、日本で勉強出来ないことを、という会社の先輩の後押しもあって、入社後に興味を持った経営科学、オペレーションズ・リサーチ (Operations Research : OR) を専攻したが、ここでORに出会ってしまったこと、教務助手 (Teaching Assistant) としての経験がその後の「幾つもの二足わらじ」の始まりだったといえる。

当時の日本から降り立ったマンハッタン、映画の中で夢見た街は、大股で闊歩する女性も含めて、ひたすらまぶしい、自信に満ちたケネディー時代のアメリカだった。大好きなコンサートやジャズ、多くの美術館など夢のような環境であったが、何よりも、この時期に出会ったさまざまな人たちの自由闊達な生き方が、人生は自分がいいと思う生き方をしていいのだという目からウロコの哲学を教えてくれた。

週末になるとメイン州の道ばたの小屋で自分の作った木の玩具を売っている高名な建築家の教授、リーダーに関する幾つもの特許で貢献した大企業をやめて、小さなフォルクスワーゲンで子ども達に人形劇を見せながらアメリカ中を回っている若い夫婦など、可能性を信じるアメリカの良さと、人生の価値観をしっかりと持つことの大事さを教わったと言っている。

石油会社時代は「24時間働けますか」からバブルの時代で、働きすぎの嫌いもあったが、ずいぶん面白い仕事をさせていた。代表的財閥企業だったが大変にリベラルな雰囲気を持った会社で、学会活動、海外での研究発表、放送大学を始めいろいろな大学での非常勤講師など、企業と学界にまたがる活動をどんどんやらせてもらった。当時としては数理モデルの応用面で先端を走っていた経歴から、

「二足わらじ」の集大成ともいえる働き場所を得て、International Vehicle of Thoughts も生かして、まだ自分は休めそうもないと思っている。

で社会人向けの大学院でも教えた。現在は、ベンチャーの顧問をしながら、新しく東京工業大学の田町キャンパスにつくった社会人向けの夜間講座「サプライチェーン戦略スクール」のコーディネータとして教壇にも立っている。この3月には、大学の教授をしている留学時代からの友人が連れてきた25名のMBA学生に日本の製造業の特色を講義し、トヨタやパナソニックなど

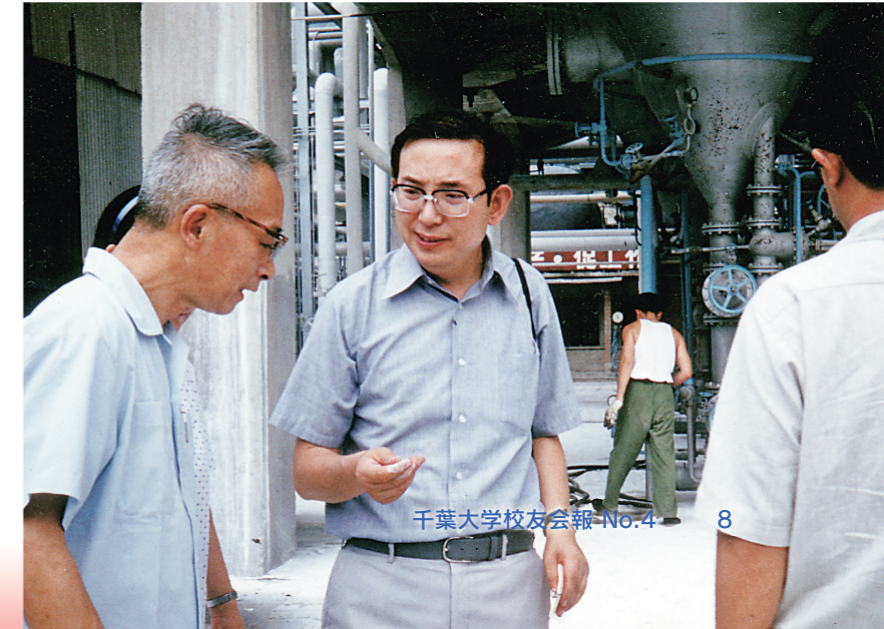
案内して回った。

西千葉にキャンパスが移り、英語部はSESはESSと名前が変わったが、現役と卒業生を含めた繋がり強い。仲間に支えられて、昨年からの「英友会」会長をしている。

今までの私の「二足わらじ」

この時代、調査や国際会議、自社のプロジェクトなどで欧米だけでなく、アジアからアラブ、中南米まで世界中を回った。数えると、30数カ国になる。「英語」というよりは、英語をベースにした「国際語」と言っても

1979年中国大慶製油所にて(最初のエネルギー技術訪中団)



千葉大学校友会 SNS「Curio」の活動

校友会SNSを通じた就職支援のお願い



2007年秋に開設された千葉大学校友会独自のSNS「Curio」も、今年秋の時点で会員数が2400名程になりました。千葉大学コミュニティ全体からみればまだまだ小さな存在ですが、少しずつ千葉大学コミュニティにおける連結環としての役割を果たしつつあります。

この1年間も、会員の拡大に向けて、Curio事務局ではいろいろな取り組みを行ってきました。会員の皆さんに月ごとの共通テーマで日記（思い出話や近況報告）を書き寄せていただく「四方山話」や、現在や過去の千葉大学の写真を持ち寄る「千葉大写真館」等が現在も続けられています。そして、この秋からは、「Curio」を通じた就活（就職活動）の支援に力を入れることを計画しております。

「Curio」の大きな目的は、卒業生間や、在校生と卒業生との間の交流を拡大していくことです。そのためのきっかけとして、

就活の支援を行うことの意義は大きいでしょう。

昨今の「就職氷河期」とも呼ばれる状況下で、就活に対する在校生の皆さんの関心は非常に高いのですが、その一方で、在校生の情報収集方法は意外に限られています。就活をどのように進めるべきかと、自分の希望に合った業種にはどのようなものがあるのかという重要な判断のための情報が、インターネットから入手できる通り一遍のものになってしまっている傾向があります。

しかし、就活で本場に役に立つ情報は、実際に就活を経験し、実際の社会で活躍されている「先輩のアドバイス」ではないでしょうか。「先輩」の忌憚らない助言こそが、就活で迷いがちになる在校生の皆さんにとっての羅針盤となるでしょう。

ただ、在校生の皆さんが実際に多くの先輩方にお会いしてお話を伺うのは時間的・距離的に難しいのも事実です。そこで

「Curio」が、そのような時間的・距離的な障害を克服し、在校生の皆さんと卒業生の皆さんとが活発に就活に関する情報提供を行う場を提供する役割を果たしていきたいと考えております。

そのためにCurio事務局では、「Curio」の中に新たに「就職活動コミュニティ」を開設いたしました。「コミュニティ」とは、SNS参加者が自由に意見交換を図る場です。「就職活動コミュニティ」では、まず、実際に就活を行い内定を得た4年生の体験談や就活に関する実態調査の結果のような情報を提供しています。しかし、そのような一方的な情報

提供だけが「就職活動コミュニティ」の目的ではありません。在校生の皆さんが書き込んだ就活に関する質問に卒業生の皆さんが回答するという意見交換を積み上げることで、在校生の皆さんの就活を盛り多いものとし、在校生の皆さんと卒業生の皆さんとの交流を拡大することを目指しています。

趣旨にご賛同いただきますとともに、すでに「Curio」の会員である卒業生の皆様には「就職活動コミュニティ」のメンバーとなつていただくことを、そしてまだ会員ではない卒業生の皆様には「Curio」にご参加いただき、在校生の皆さんに対する助言者となつていただきますことを、お願い申し上げます。

【Curio】で出来る事

Curioのトップページ



- ① 他の会員とのメッセージの送受信
- ② コミュニティへの参加を通じたネットワーク形成
- ③ 同窓会別掲示板を通じた情報の受信
- ④ 特定の会員のマイフレンド登録
- ⑤ 日記を通じた近況報告・意見発表
- ⑥ コミュニティの開設・運営を通じたネットワークの拡大(正会員のみ)

千葉大学校友会SNS「Curio」の詳細・登録方法については、下記のサイトをご覧ください。

<http://www.chiba-u.ac.jp/sns.htm>

千葉大学校友会 海外支部



海外校友会支部代表者会議

千葉大学校友会海外支部は、海外に在住、或いは勤務している帰国留学生や日本人卒業生の交流と親睦を通して、千葉大学の発展に寄与することを目的として設立されました。

千葉大学60周年記念事業に合わせた海外校友会支部代表者会議を開催し、今後の連携、活動及び課題等について意見交換が行われました。

参加国：
中国、台湾、インドネシア、
フィリピン、インド、
フィンランド、ドイツ、
ポーランド、イラン、エジプト

事務局 千葉大学国際教育センター
TEL: 81-43-251-1111
FAX: 251-869
E-mail: kaigai-koyukai@office.chiba-u.jp



千葉大学校友会

千葉大学
Newsletter of Alumni Association, Chiba University
校友会報

第4号 2010年11月1日発行

千葉大学校友会

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL : 043-290-2109,3902,3903

E-mail : koyukai@office.chiba-u.jp

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/project/alumni/>